

事務事業評価シート

事業番号 20	事務事業名 下保谷四丁目特別緑地保全事業費	所管部課 みどり公園課
------------	--------------------------	----------------

事務事業の概要	事務事業の目的【1】	根拠法令等【2】
	都市化が進む駅周辺地域における貴重な緑であり、武蔵野の面影を残す屋敷林として非常に貴重な空間であるため、特別緑地保全地区として指定し保全するとともに、地域資源として有効活用することを目的とする。 【根拠法令等:都市緑地法】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則等 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要【3】	

【事業内容／実施方法】

■保全
 ・母屋、外灯などの施設の修繕や、ナラ枯れ対策、剪定作業等を委託により定期的実施している。
 令和5年度実績(母屋修繕、樹木剪定)
 ・市民ボランティア団体による管理を行っている。
 活動内容(除草等維持管理、野草園の管理・開放など)

■活用
 ・一般開放(令和5年度実績:年24回実施)
 ・委託会社によるイベント実施(令和5年度実績:季節に合わせ4回実施 野草園見学ガイドツアー、ひんやり井戸水で水遊び、落ち葉図鑑作り、むかし遊び体験など)
 <都支出金>
 東京都市町村総合交付金(令和4年度及び令和5年度)、
 東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業補助金(令和4年度及び令和5年度)

平成24年度 実施形態【5】 直営 委託 補助 その他 (市民ボランティア)

項目	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算見込額)	令和6年度 (予算額)	単位
事業費(A)【6】	5,656	7,738	13,102	29,701	千円
内訳					
主要な経費: 樹木剪定等委託料	3,017	3,409	7,043	14,500	
その他: 維持管理費等	2,639	4,329	6,059	15,201	
財源					
国庫支出金・都支出金	0	3,188	2,387	0	
地方債					
内訳					
その他 ()					
一般財源	5,656	4,550	10,715	29,701	
所要人員(B)【7】	1.00	1.00	1.00	1.00	人
人件費(C)=平均給与×(B)	7,305	7,176	7,176	7,176	千円
会計年度任用職員報酬等(C')【8】					千円
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	12,961	14,914	20,278	36,877	千円
単位当たりコスト【9】					
(E)=(D)/ (イベント開催日数)	4320	2983	5070	—	千円

指標名	令和3年度 (実績値)	令和4年度 (実績値)	令和5年度 (実績値)	令和6年度	単位
①イベント開催日数	3	5	4		日
②イベント来場者数	1,123	2,031	1,400		人
【10】	《指標の説明・数値変化の理由 など》【11】 令和4年度から年度内4回の季節イベントを開催している。				

事業環境等	市民・関連団体等の意見【12】 (アンケート結果など)	イベント開催時に行ったアンケートでは、「自然を体験しながら、自然を活かした遊びをできるのが良かった。」や「子どもが楽しむことができ良かった。」といった声が聞かれた。	
	他団体のサービス水準との比較【13】 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市において、保存と活用を両立している特別緑地はない。
	代替・類似サービスの有無【14】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	保全と活用のどちらか一方を担うサービスは民間等でも存在するが、保全と活用を両立したサービスを提供している例は見当たらない。

【一次評価】

検証項目【15】		判定	判定理由
A	事業の必要性	普通	より豊かな市民生活の形成に寄与する事業である。
	実施主体の妥当性	課題有	特別緑地の活用については、民間やNPO団体等が同種のサービスを提供しており、市が主体となる必要性は低い。
B	事業(補助)の対象	課題有	現状は、周辺に在住する市民が来訪者の中心であるが、市外も含め、幅広く来訪者を増やしていく必要がある。
	事業(補助)の内容	課題有	来訪者を増やすため、母屋の活用などを検討しているが、経費の抑制が課題である
	受益者負担	適切	施設規模と内容からは入場料を徴収することが難しいため、受益者負担は導入しない方向である。
	事業コスト	高い	安全性を確保するための樹木や建物の維持管理費用負担が大きい。
	業務負担	多い	イベントへの同行やボランティア団体との調整に時間を要するため、事業実施効果に対し業務負担が多い。
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目			
一次評価【16】		評価の判断理由及び現状の課題など【17】	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止		特別緑地の活用については、民間企業やNPO団体等が同種のサービスを提供していることから、市が主体となって行う必要性が低く、民間活力の導入について検討が必要である。また、幅広く来訪者を増やしていくためには、一般開放の日数やイベントの回数を増加させたり、現在、イベント時のみに開放される母屋などの活用を行うことが必要となるが、維持管理費や委託料の増加が見込まれることから、経費の抑制が課題である。	

【二次評価】

検証項目		判定	判定理由
A	事業の必要性	普通	より豊かな市民生活の形成に寄与する事業である。ただし、利活用の方法によっては重要度は上がる。
	実施主体の妥当性	課題有	今後の緑地の公開状況に併せて検討が必要である。
B	事業(補助)の対象	課題有	まずは、地域のニーズ把握が必要である。
	事業(補助)の内容	課題有	閉鎖的な空間・管理とならないよう、維持管理と一般解放の範囲や段階的な整備について検討が必要である。
	受益者負担	適切	現時点での活用レベルでは受益者負担の考え方には該当しない。
	事業コスト	高い	安全性を確保するための樹木や建物の維持管理費用負担が大きい。
	業務負担	多い	ボランティア団体との調整があるため負担が多いと思える。
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目			
二次評価【16】		評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【17】	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止		樹木の選定及び施設の維持管理に多大な事業費を要しているのにも関わらず、現時点ではイベント開催時しか利用されない閉鎖的な空間となっている。まずは、地域のニーズや市民に開かれた運営を検討するなどして、市民からの認知度や利用者の増加を検討すべきと考える。また、施設の維持管理については、外部委託のみを検討するのではなく、日常的な開放について、会計年度任用職員の活用を含めた低コストの管理運営も検討すべきと考える。なお、樹木の維持管理については、樹木医などの専門家の知見を踏まえて、安全な樹木の管理方法を検討し、地域ボランティアと行政がお互いの作業を理解する必要がある。	

【外部評価】

外部評価【16】	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【17】
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価【16】	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【17】
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

改善の方向性と今後のスケジュール【18】	
----------------------	--